

## 成績評価基準およびG P Aの導入について

2019年4月入学者より、成績評価基準を変更するとともにG P Aを導入しています。

概要：G P Aは個々の学生が受講した科目の理解度の平均を以下の計算式により表すもので、成績通知書・成績証明書などに記載されます。

目的：G P Aは学習成果を総合的に判断できる指標を提供し、学習意欲の向上や学習計画などの自己管理に資することを目的とします。また、成績優秀者に対する表彰などに利用される場合があります。

## 成績評価基準

素点評価 ※	素点評価しない場合の基準	評価(成績表示)	合否
100～90点	基準を大きく超えて優秀である。	S	合格
89～80点	基準を超えて優秀である。	A	
79～70点	望ましい基準に達している。	B	
69～60点	単位を認める最低限の基準には達している。	C	
59～0点	基準を大きく下回る。	D	不合格

※素点評価は100点への換算の目安で、教科ごとに変更することが出来る事とします。  
詳しくは教科ごとのシラバスをご覧ください。

## G P Aの算出方法

G P Aは「Grade Point Average」の略で、履修した科目の成績により得られたG P (下記表)と単位数を基に下記の計算式で算出されます。(小数点第2位まで表示)

$$G P A = \frac{\text{期間の中で履修登録した科目の単位数} \times \text{その科目で習得したG P}}{\text{期間の中で履修登録した科目の総単位数}}$$

## 成績評価基準・G P換算と合否

素点評価※	素点評価しない場合の基準	評価	G P	合否
100～90点	基準を大きく超えて優秀である。	S	4.0	合格
89～85点	基準を超えて優秀である。	A+	3.5	
84～80点		A	3.0	
79～75点	望ましい基準に達している。	B+	2.5	
74～70点		B	2.0	
69～65点	単位を認める最低限の基準には達している。	C+	1.5	
64～60点		C	1.0	
59～0点	基準を下回っていたが、その後基準に達した。	C-	0.5	
59～0点	基準を大きく下回る。	D	0.0	不合格

一般的にG P Aは、「2.4～2.8」が平均で、「1.0～2.0」は勉強不足と評価されます。  
また、「3.5」以上はものすごく優秀・「2.9～3.2」は優秀になりますが、就職活動で選考の判断基準に使用している企業もありますから、よりよいG P Aを目指してください。